

市民活動の活性化へのサポート

【支援金確定額：6,033円 支援率：50%】

記入日：平成26年3月12日

■どのような活動をしている団体ですか？

市民協働に関する環境づくりを目指して、市民協働の担い手である市民と行政が協力・連携することができるよう、そのコーディネーター役として良好なまちづくりを進めることを目的として、次の活動を行っています。

- (1) 市民協働事業の実施や会員の活動などの情報交換
- (2) まちづくりの推進を図る活動、及び市民公益活動を行う団体の運営、もしくは活動に関する連絡、助言または援助の活動
- (3) 船橋市または市民公益活動団体から協力依頼のあった事項への参加活動



情報ネット発信講座の様子

■事業提案型支援金をどのように活用されましたか？

昨年度のテーマを継続して、情報ネットの情報発信会員のスキルアップを図るための講座「情報ネット発信必勝講座」を開催しました。昨年度のガイドブックは、講座におけるQ&Aを逐次取り入れながら修正して使用しましたが、改めて全面的に見直した改訂版を作成し、その印刷に支援金を使用しました。更に、講座における情報ネットの基本的な説明を簡略化して、各団体の知りたいことに重点をおくため、簡易な手引きを作成し、その印刷にも支援金を使用しました。

【情報ネットとは(「ふなばし市民活動情報ネット」)】

船橋市がインターネット上に開設する市民活動情報サイトのことで、市民活動団体がイベントや活動内容などの情報を、自ら発信することができます。



市民活動まつりのパネル出展

■事業提案型支援金を活用して事業を実施することで、どのような成果がありましたか？

情報ネットの入力サポートの講座を昨年度に引き続き開催し、団体を個別にサポートしたことは、大変好評を得ました。受講の理由として、団体内の情報発信担当者が交代し、改めて情報ネットの入力方法を知りたいと希望する団体もあり、情報発信が可能な団体ばかりでないことが窺われます。

市民活動団体が、自らの活動を知ってもらい、理解してもらい、イベントに参加してもらうために、ソーシャルメディアの一角である「ふなばし市民活動情報ネット」を通じて、活動報告やイベント予定の情報を発信する団体が増えているが、一方で、他のコミュニケーションツールを利用して情報発信を行う団体も多く見受けられます。今年度の受講者は21団体と昨年度より減少し、目標には達しなかったが、市民活動に関する情報を発信することの重要性が、ゆっくりであるが浸透してきていると感じられる。

■今後の活動の抱負について

平成26年度は、市民活動サポートセンターの新規利用登録団体を対象に、情報ネットの利用方法等の説明を行うことが検討されていることを踏まえて、3回目となる支援事業交付申請を行わないこととしたが、市民協働推進連絡会としては、今後も行政の取り組みに対し、協力・連携する活動を行う予定である。

なお、情報ネットは、市民活動に関する情報の発信に加えて、情報・データの蓄積・整理が行えることを含めて、より一層の広報が望まれる。特に、市民活動サポートセンターだより「ふなばしご」の利用や情報ネット紹介のパンフレットを、市民の関心が向くように改訂することが必要と考える。

■問い合わせ先：代表 金内 俊彦 (かねうち としひこ)

TEL : 047-424-8123 E-mail : nrb53686@nifty.com